

今後のスポーツ施設にかかる整備と受益者負担金のあり方について

1. 使用料等見直しにおけるこれまでの経緯

R 3 秋頃 料金の見直しの検討開始（持続可能な行財政運営プラン）

- ・ 旧長岡地域の負担割合 20.6%、支所地域の負担割合 5.9%

R 4. 3 利用団体へ見直し案の説明開始

【当初案】

- ・ 「基幹体育施設」、「地域体育施設」、「レクリエーション施設」に区分。
- ・ **基幹体育施設の使用料等を旧長岡市基準に統一。**（目標負担割合 20%）
- ・ **地域体育施設の使用料を無料に設定。**ただし、照明・冷暖房設備の使用料は有料。

R 4. 6 支所地域で説明会を開催

【主な意見】

- ・ 受益者負担は分かるが、負担が増えないよう減免をしてほしい。
- ・ 同じ規模の施設なのに区分が違うことは納得できない。
- ・ 有料化をするならまず修繕をしっかりとしてほしい。利用者ボランティアでやっていた草刈等もしてもらいたい。
- ・ 学校開放分として整備した施設は無料にしてもらいたい。
- ・ コミセンや学校開放が無料なので無料にしてもらいたい。

R 4. 9 支所地域の減免状況を再調査

- ・ 減免・運用により 10 支所中 7 支所が使用料無料。

2 今後の対応（案）

地域の意見を踏まえ、当初案の減免基準や施設区分の一部見直しを検討する。

- 「基幹体育施設(全県大会開催施設)」、「地域体育施設(地区大会開催施設)」、「地域体育施設(学校開放類似、コミセン規模施設)」、「レクリエーション施設」の**4区分に変更する。**
- 新たに整備して基幹体育施設に位置付けをする場合については、個別に適正な使用料を再設定する。
- 支所地域の体育館の中で比較的大きい規模の施設を地域体育施設(地域大会開催施設)に位置付けし、負担割合 20%を目指すように**まずは全額減免を8割減免に変更する。**
- 地域体育施設(学校開放類似、コミセン規模施設)については、**コミュニティ要素が強い施設のため現運用まま保留する。**